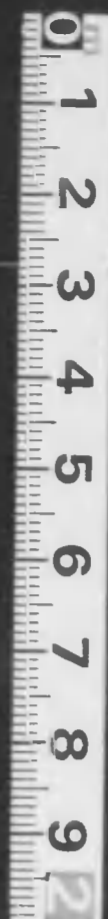


寫眞週報

編輯局 情

二月廿四日 第二十六百六十一號



眞實週報

情報局編輯

二月廿四日・第二十六號・第十七







⇒ 兵隊の手にカメラのレンズ



⇒ 白銀上に敵機は火を吐く



⇒ 重機銃は構えに備って進む



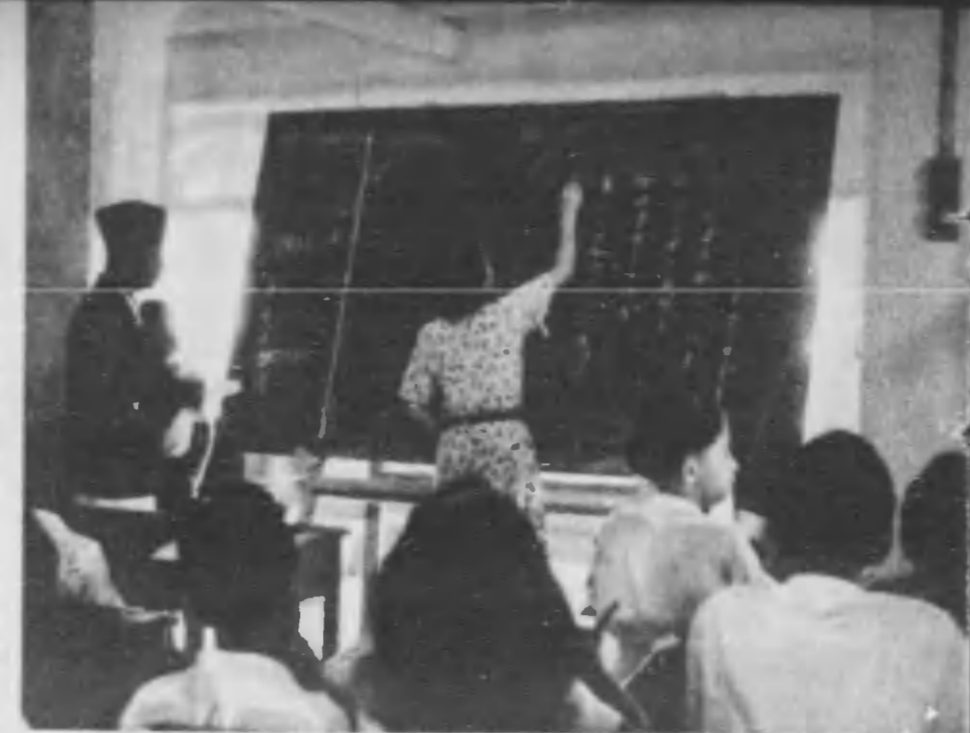
⇒ 報道隊員はアイカメラ(携帯用映写機)に防塵装置として白銀上の部隊演習を撮影する  
 ↑ 夜間に移動する機銃部隊は黙々と進む

北を護る精鋭の苦闘を描く

# 建設一年 新マライの姿

シンガポール陥落の日を新生マライ記念日として去る二月十五日、昭南はじめマライ半島各地では盛大な行事がいろいろと催された。この一年マライ軍政は産業、経済、治安、民族政策など各般に亘つて、よくイギリス百年の経略に匹敵する成果を収めてゐる。新生マライは名實ともに南方圏の中核として強力な地歩を築き、更に戦争完結への第二歩目を歩みだしたものだ。

ここに掲載した写真は「誕生一年、新生マライ」を銘打つて、最近現地軍報記者が撮影したものであるが、戦時委員の手になるこの生々しい現地の写真によつて、あの激しかった戦ひの跡を偲ぶとともに、マライ全島に亘つてゐる雄しい建設の草創會に思ひをはせよう。



アロースターの日本語学校。校長先生が授業中。校舎は、最後まで敵地に残りつひに島軍入城まで頑張り通した一婦人である。

マライの米生産量は、これまで消費の半ばに足らぬ貧窮なものであつたが、現在自給自足を目標して必死の増産運動を展開してゐる。マライ最大の米生産地ケダ州の稲作試験所。

ベナンは古くから貿易港として知られてゐるが、ベナン島と對岸は運輸船が半時間おきに往復してゐる。住民を海山のせ、対岸のミツエムル渡船船。



ベナンには世界第一の船の修繕所がある。この修繕所の復興、輸送船の増備と共にベナンは戦前以上の繁華が潤つてきた。写真はベナンの自動車道を歩行する無敵運兵車。

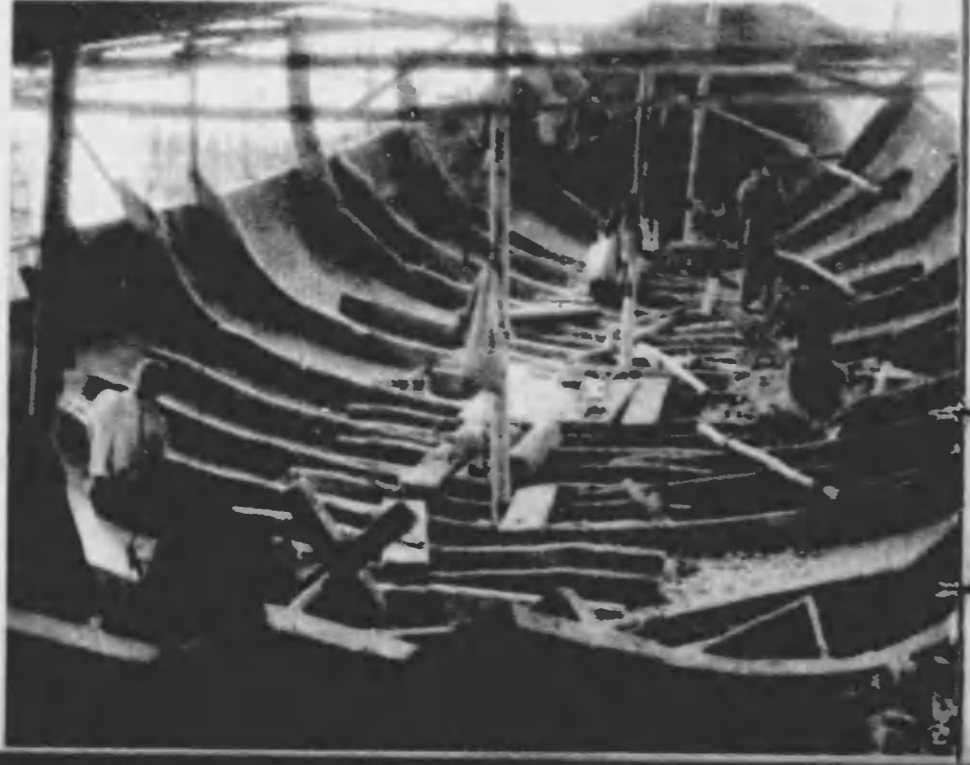


ケダ州の稲作試験所



軍政監部の外局になつてゐる海軍局の發表によつて、マライの木造建築は邦人經營者の到着とともに活潑な動きをみせ、本年中に完成する木造は、大に上る見込みといはれる。ケダ州の造船所に働く現地人。

マライの鐵道は完全に復舊し、現地の農民も便に服することをいといはれる。これはタイピンの停車場風景だが、和やかな気分の中、マライ鐵道の復舊より十分感ぜられる。





姿のイラム新年一設建

セレンパンはネグ  
スピラン州の首  
都で、京都を思は  
せるせりな、山間  
の清楚な街であ  
る。真実は乗客で  
賑はつてゐるセ  
レンパン停車場

タアラランブール  
は二承知のやうに  
セランゴール州の  
首都だが、政廳に  
は舊政廳の豪華な  
建物がそまゝあ  
てられてゐる



ベラック州とセラ  
ンゴール州の州境  
にたつてゐる標  
識だが、余り日本  
語に響きかへられ  
てゐる。軍艦の旗  
号、日本國の普及  
の度、これによ  
つても十分うら  
ける



マライ半島の石炭  
生産は島内の清  
水にもたないほ  
どである。一、二  
も北部になると  
で違つてゐる。一  
イポー停車場の石  
炭採掘風景





悦楽の世界を成すおとといふ  
此の間に一日の達成を終つて和やかな表情が浮かぶ  
水の水は静かすぎるが、戦士の魂  
を純一無垢に清めあげる  
この部屋は昔の隈の夜々の賑りを思ふのだつた

# 産報道場と水戸偕楽園清香亭 して更生たし



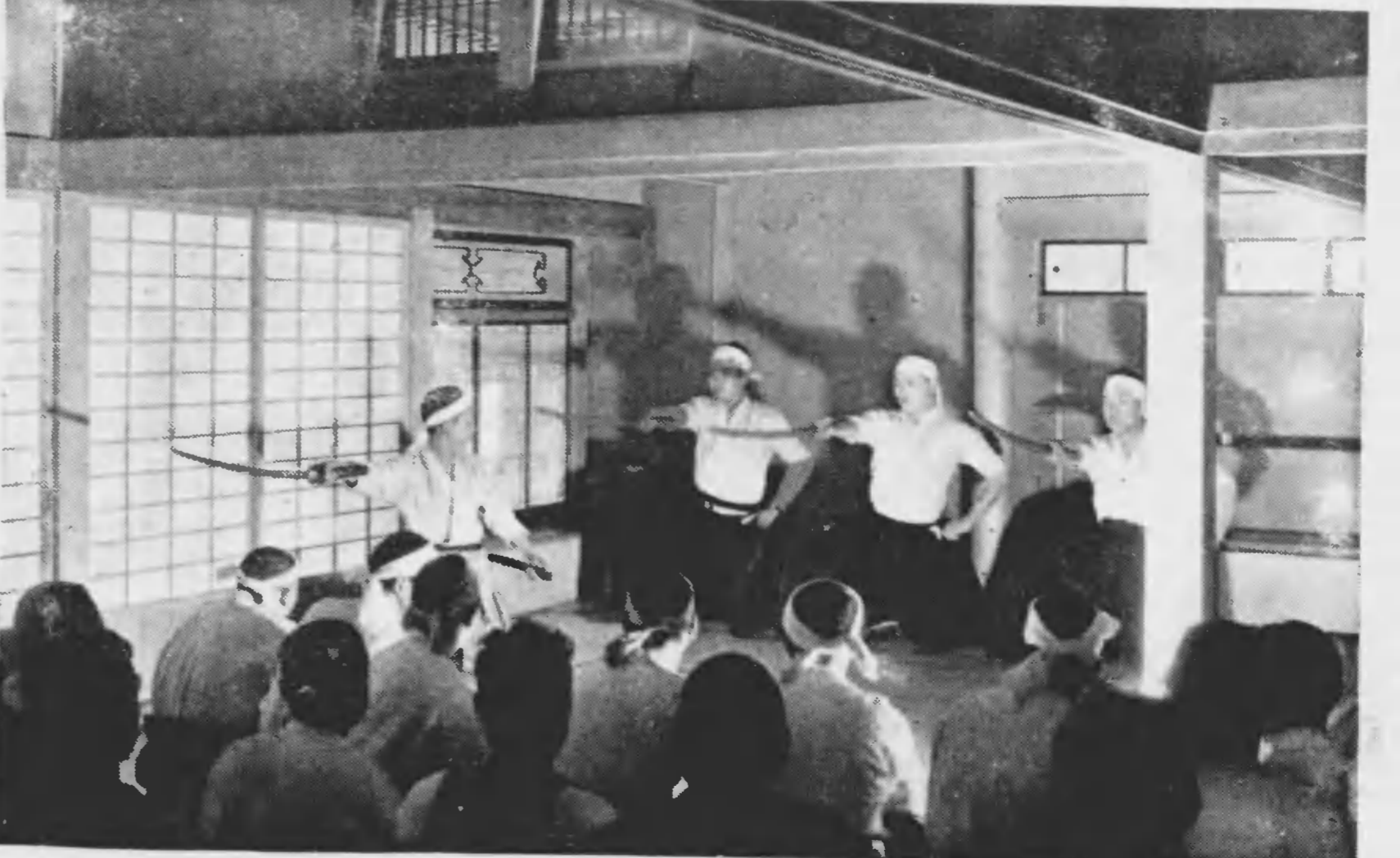
茨城県産報道場

人々も、あつてお國のお役に立てなければならぬ時に、少しでも戦争に役立つやうなことをするために、大事な物や人が使はれてゐるといふこと、いふ大きな損失でせう。さればこそ鐵も、銅も、ガスも、電氣もよろこんでお國に捧げられました。だが、私達の新しい生活の節のやうに、非戦争生活的な施設がまだ、のこつてゐないといへません。これらの物も、いふお國のお役に立てようではありませんか。少しでも國力を増し、いふために、あらゆる物を役に立てようではありませんか。すでに幾多の別荘が産業戦士の宿舎等に提供されたりしてゐますが、今度茨城県水戸市の名公園



千代子の面をわたりて真摯な気合が響く。大石の布置美しい前庭に、この欄を浴びて起國精神の逞しい律動がくりひろげられた。

此公園の一角にあつて、多年家社を誇つてゐた料亭清香亭が、美酒佳肴の殿堂の名を一擲し、茨城県産報園會館道場として、時代のいぶきのうちに更生することとなり、更に陛下皇太子の報國精神の鼓舞に、皇國勤勞精神の達成に眞摯な献酬があげられてゐます。



此歌の響すでに纏えた、喧嘩の聲を踏みならして水戸魂をたゞき込め舞臺に成  
「容易勿、池日本刀」敬愛する名君、園會館日本刀の詩が朗々と吟せられて

# 白銀の道場

長野縣 野野原 監督



これは厳寒零下十数度の雪中で連日若い肉體を鍛錬の汗に光らせ、男子はやがて逞しい神兵に、女子は他兵を生む強い母に、栄光の『頼もしい第二師』として奉公の日に備へつゝある長野野野原中學校、野澤高等女學校生徒の寫眞報告です。雪の山林での野試合に、裸體操に、また騎馬戦に、長野縣では雪に埋もれた山や川がみんな活きた冬の鍛錬道場となつてゐます。



丹田にツツと力を入れて、ツツと手を振る氣魄で、もう一度！



北邊の饑りについてゐる勇士の怨念を偲んで萬國の野外教練



やつたわね、何を？！敢闘精神は火だるまならぬ燃だるまとなつて





「極力米の供出を早くしよう」といふ政府の方針に應へ、深い雪に埋もれた庄内平野から「よし出さう」といふ威嚇のいゝ供出が吹雪く粉雪を蹴つて行はれてゐます。



「極力米の供出を早くしよう」といふ政府の方針に應へ、深い雪に埋もれた庄内平野から「よし出さう」といふ威嚇のいゝ供出が吹雪く粉雪を蹴つて行はれてゐます。

# 米の供出を早くしよう

山形県

田村 茂



「極力米の供出を早くしよう」といふ政府の方針に應へ、深い雪に埋もれた庄内平野から「よし出さう」といふ威嚇のいゝ供出が吹雪く粉雪を蹴つて行はれてゐます。

## 三月の常会

米の供出と甘藷の増産に努めませう

今年の供出米の割當は、國家が、これだけはどうしても確保しなければならぬといふ最低限度のものであります。もし、國家が計畫したこの數量に達しないと、勢ひ外米に頼り、外米を入れることとなります。外米を輸入するには、山形の船舶が必要となります。戦争下、軍の作戦には一隻の船といへども、飛行機や戦車と同じやうに大切な兵器です。外米の輸入に船舶を使ふことは、それだけ軍の作戦に支障を與へることになります。私たちがこの際、割當として外米に頼るの無い考へから脱けだし、また甘藷の大増産をやり遂げて、今年こそ是非でも食糧を國內で自給しなければなりません。グラフで紹介しましたやうに雪に埋もれた庄内平野からは、寒さなどを厭はずどん／＼とお米が供出されてゐます。

一、供出米の割當量は必ず供出させよう

イ、部落會、町内會では、みんな

# 大東亞戦争日誌

一月

三十一日 ●帝國海軍潜水艦は一月二十三日及び三十一日、フィリピン諸島のロンドン島の敵軍施設及び在港艦に砲撃を加へたり

一日 ●帝國海軍航空隊は二月一日、ソロモン群島イサベル島南方に機動中の敵海上部隊を捕獲攻撃し、またニュージョージア島方面において挑戦し來る敵航空機と交戦、これに多大の損害を與へたり

七日 ●帝國海軍潜水艦は一月一日、ソロモン群島イサベル島南方において、左の戦果を収めたことと判明せり

巡洋艦 一隻 沈没  
 駆逐艦 一隻 沈没  
 魚雷艇 十隻 沈没  
 飛行機 八十六機 撃墜

九日 ●(一) 南太平洋方面帝國海軍潜水艦は、昨年夏以來有力なる一部をして遠く挺進せしめ、敵の強固なる反抗を牽制破砕しつつ、その掩護下にニューギニア島及びソロモン群島の各要線に戦略的根據を設定中とのところ、既に概ねこれを完了し、こゝに新作戦遂行の基礎を確立せり

(二) 右海軍部隊としてニューギニア島のブナ附近に挺進せる部隊は、敵兵をくく敵の執拗なる反抗を撃破しつつありしが、その任務を終了せしより、一月下旬陣地を撤し他に轉進せしめられたり。同じく掩護部隊としてソロモン群島ガダルカナル島に作戦中の部隊は、昨年八月以降の激しい戦中の傷勢なる敵軍を同島の一角に緊追し、激戦を繰りかへて敵軍を撃破し、ありしが、その目的を達成せるに、二月月上旬同島を撤し他に轉進せしめられたり。我は終始敵に彈藥を加へこれを捕伏せしめたる結果、南方面とも掩護部隊の轉進は極めて警備確實に行はれたり

(三) 現在までに判明せる戦果及び我が軍の損害は既に發表せるものを左の如し

飛行機撃墜 二万五千以上  
 火砲破壊 三十門以上  
 戦車破壊 二十五臺以上  
 我が方の損害、人員(戦死および戦病死) 一万六千七百三十四名、飛行機(自爆および未歸還) 百三十九機

十二日 ●帝國海軍潜水艦は一月中旬より二月上旬までに、太平洋東岸において敵船六隻五万四千トンを撃沈せり

十三日 ●帝國海軍潜水艦の昨年八月七日以降本年二月七日までにソロモン群島およびニューギニア島方面において収めたる未發表の戦果並びに我が方の損害發表

巡洋艦	一	沈没
駆逐艦	四	沈没
魚雷艇	三	沈没
哨戒艇	一	沈没
計	八	沈没

(一) 飛行機	撃墜	二五七
(二) 船隻	撃沈	二〇
(三) 砲台	撃破	二
(四) 戦車	撃破	二
(五) 戦艦	沈没	一
(六) 巡洋艦	沈没	一
(七) 駆逐艦	沈没	一
(八) 魚雷艇	沈没	一
(九) 哨戒艇	沈没	一
(十) 計	計	二二

## 國民映畫脚本入選發表

情報局では、國民映畫の樹立を促す一の方法として、昨年より續き本年度も廣く一般から脚本を募集しましたが、その入選作が左の通り決定しました

- 『大地の詩』 南條哲也
- 『雪國』 東京市依田義賢
- 『強風』 東京市依田義賢
- 『雲』 東京市依田義賢

なが戦時下の米穀事情をこく諷刺して、愛國の赤誠をこめて供出してませう

二、一段當り千貫の甘藷大増産をやり遂げませう

二百三十億の貯蓄は必ずやり遂げませう

兵器の生産に、電氣・ガスを節約しませう

前號でも述べましたが、全國の家庭で三ツワットの電燈を毎日一時間だけ節約すれば、その電力で飛行機二臺半分のアルミニウムが造れます。また各家庭でガスを一ヶ月に僅か一立方メートル節約すれば、それだけで實に貨車五百輛の石炭が浮きます。電氣、ガスを節約することは、兵器生産への献納となり、これを極力軍需に廻し、飛行機、大砲、軍艦の生産増加を圖りませう

電氣 電燈は手まめに消し、定額燈でもつけ放しせず、なるべく小さい球ですます工夫をしませう



日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

建國祭水の叙典

二月十一日

一、日▽滿洲國建國記念日

二、日▽南洋羣島九切手賣

三、日▽無事

四、日▽無事

五、日▽無事

六、日▽地久節

七、日▽大沼春慶日

八、日▽大沼春慶日

九、日▽三十八回國庫記念日

十、日▽三十八回國庫記念日

十一、日▽三十八回國庫記念日

十二、日▽三十八回國庫記念日

十三、日▽三十八回國庫記念日

十四、日▽三十八回國庫記念日

十五、日▽三十八回國庫記念日

十六、日▽三十八回國庫記念日

十七、日▽三十八回國庫記念日

十八、日▽三十八回國庫記念日

十九、日▽三十八回國庫記念日

二十、日▽三十八回國庫記念日

二十一日、日▽三十八回國庫記念日

二十二、日▽三十八回國庫記念日

二十三日、日▽三十八回國庫記念日

二十四、日▽三十八回國庫記念日

二十五、日▽三十八回國庫記念日

二十六、日▽三十八回國庫記念日

二十七日、日▽三十八回國庫記念日

二十八、日▽三十八回國庫記念日

二十九、日▽三十八回國庫記念日

三十、日▽三十八回國庫記念日

三十一、日▽三十八回國庫記念日

# 兵 尖の学科に強増産生

班力協

強増産生の所究研學科働勞



早出や残業の組合の作業標準が一般に低減であることはこれまでも知られてきた事實である。それにもかかわらずこれを行はなければならぬ今日、そこには一番高い標準の仕方といふものが打ち立てられなければならない。協働力班は若い工員たちと起用、生活をともにしながら作業時の健康と能力の保持を研究する

現場は生産増強の最前線である。この現場に科学のメスを加へて、これまでと全く常備や経験だけで左右されてきた労働管理の方法を改め、正しい現場労働を打ち立てよう。敵米英露の捕まぬ生産増強を確立しよう。協働力班を所長とし百餘名の科働勞者を擁する労働科学研究所では、こんどこれらの科

働勞者を動員して「生産増強労働力班」を組織し、批判的に取り巻く科働勞者の衣を脱ぎ捨てて炭山、鐵山、造紙、化学工業、機械、電



作業環境の良否は生産の効率に直接影響を及ぼすところが大いである。同時にそれは防塵設備のため作業場の温度、湿度、照明、騒音、粉塵等に特に注意しなければならない。労働者はこの作業環境の整備に積極的な協力をする。照度計による適切な工場照明の調査もその一つである。

作業環境を長期にわたって最高度に維持することは生産増強の重要な課題の一つである。協働力班は作業環境の健全性を長期にわたって確保するため、健康の確保に健全な科学的方策を確立し、併せて正しい食生活の指導に活躍する。協働力班の第一は今年附近にあるおでん屋、すし屋などの屋敷店を調査した。



物、精密工業の全国代表七事業場に選定、一月二十日から三月二十日まで二ヶ月間、班員は労働者たちと生活を共にしながら労働科学の尖兵として活躍することとなり、このうち第六班は古澤博士を班長として川崎市の秋田工場を拠点、すでに見學を終へて鋭意研究を進めてゐる。

技術の能力も仕事の効率も、つねにその背後にある文化を母として育てられてゆく。若い工員の適切な教育と指導は今日最も必要である。協働力班は若者の教育を高め、生活を指導し、併せて作業に創意と工夫とを起させるために、学校教育の公式主義から一歩を進めて現場の間に労働科学研究所が開かれた。



生産の尖兵に青少年工の心身に好ましくない影響を及ぼすやうなことがあつたならば、それは直ちに将来の軍隊に重大な影響をもつだらう。工業部門においてもまた、あくまで必要な生産を確保しながら同時に健兵兵隊の培養に全力を期さねばならない。この目的から健康診断と心理学的な教育検査が行はれてゐる。

明日の労働能力は家庭の休息で増はれる。準備された家庭でも内にあつて増進に協力する主婦の心遣ひである。協働力班員は主婦の生活を指導し、毎日の時間の費し方を反省させ、家事労働の機械化のために活動する。同時に順序よく進められたこの家には、健康について主人の安全を祈る御守が添へてある。



機械工具は最大重要な生産手段の一つである。これがつねに最高の効率を發揮するやうな状態にあれば作業は非常に愉快となる。従つて生産性の向上は手廻の良し作具の準備にまつところが極めて大きいわけだ。協働力班は機械的な作業環境を改良してこれを全工場に普及せよと努力する。

工業側においても、かうした労働の學問的立場を尊重して白紙をもつてこれにのぞみ、ともに生産増強に努力を傾けようとするものである。研究は技術、藝術、労働、厚生、文化、生活等あらゆる角度、あらゆる方法で検討するわけであるが、注目されるのはこれまでのやうに單なる研究資料蒐集ではなく、その日の研究結果をその場で實踐に移すことであり、飛躍的な生産増強に一日を争ふ決意下、その結果には大きな期待がもたれてゐる。





⇨ 命令一下山掃蕩をとり巻いていよいよ追撃を開始する

⇨ うろたへた敵をマナに追ひこんで



⇨ 前方三百メートルに敵進駐

⇨ 凱歌あがる進駐部隊

一匹送るまでの包圍陣を布いて敵を壓迫多数の獲物を射止めて凱歌をあげました



背に兵糧の日の丸旗を立て、  
 腰に腰刀がハの軍服をくまりに  
 つけて、手に一丁の短銃、竹槍  
 をひっかけたコマ、部隊が、  
 ワーッと山間の果とともた  
 枯草の山ひだを突進してゆき  
 ました。勇ましい見物り部隊の  
 出陣です

大分県久住国民学校の強い  
 子たち三百名は進駐に  
 耐へる訓練をかねて温  
 い夏の手皮を北の陣取り  
 につく兵隊さんにお贈  
 りします。この陣  
 と九州山本の大塚演習  
 を開演しましたが、各  
 部隊とも先鋒一杯に、  
 進駐を奇き進駐をよみ  
 砕いて進駐を大進駐、

# 敵は前方の兎公

大分県久住国民学校の見毛皮献納



大分県 白水 定男



勇ばかりか捕もこの竹槍でしとめてやるソ



寫眞週報 昭和十八年二月廿四日 郵政省認可 郵政省印刷 郵便一四六番 郵便一四六番

# 大東亞戰爭 國債

日五月三〇日二十二月二 出賣局便郵

亞東大け築で力の券債債國

# 時戰・回七第 券債蓄貯 報國

日十二月三〇日二十二月二 出賣

寫眞週報  
(兼轉載)

昭和十八年二月廿四日 印刷發行

情報局

東京市豊町一ノ一

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

東京市豊町一ノ一

發行所

内閣印刷局

前編期間に本誌を  
お読みになつたら本  
誌を前編期間に送り  
ませう。送料は内地  
と同様で封筒あるひ  
は開封にして第二編  
と明記すれば、一部  
一送です。

所 達 申	價 定
全國各地官報 販賣所	一部十錢 (送料一錢)
書店・販賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	▲郵政配達郵便 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 送へ御申込み下 さい。
	▲特大號の場合は 其の都度御申込 金より差額を申 受けます。

▲郵政配達郵便  
の方は一部十錢  
(送料一錢)の割  
合を以て前金を  
送へ御申込み下  
さい。

▲特大號の場合は  
其の都度御申込  
金より差額を申  
受けます。